

「超伝導線材を語る～使われる線材とは～」

【開催主旨】

この 10 年余、銅酸化物や二ホウ化マグネシウムを用いた高温超伝導線材の長尺化、特性向上技術の開発が様々な用途への実用を念頭に置いて本格的に行われるようになっており、現在では内外の延べ 20 社ほどが長尺線材を製造しています。今なお Nb 系超伝導線材が超伝導線材応用の主役ですが、高温超伝導線材は高温や高磁場領域に新しい超伝導応用の可能性を着実に拓きつつあります。一方、高温超伝導線材特性の向上を目指した基礎研究も活発であり、さらなる高特性化の芽が見つかってきています。ところが、高温超伝導線材を機器、設備に実用する段階では、超伝導特性そのものよりむしろ諸々の材料特性において課題が生じています。

このような背景のもと、これまで本研究会では、超伝導線材に関するワークショップを 2010 年、2015 年に開催し、これらではメーカーの開発者を講師としてお招きし、線材開発の状況を紹介いただく機会としていましたが、今回のワークショップでは視点を換え、大学や研究所の研究者に高温超伝導線材の現状と可能性を基礎～応用、さらにユーザーの立場から語っていただきます。さらに冒頭で金属系超伝導線材が歩んできた足跡を学び、後半ではパネルディスカッションを行います。これらを通じて皆様と、高温超伝導線材の普及に向けての道やあるべき姿を探っていくことが本企画の目的です。

多くの皆様のご参加をお待ちします。

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

協賛：公益社団法人 低温工学・超電導学会

日時：平成 29 年 7 月 24 日（月）13:30～17:45

場所：全日通震が関ビルディング 8 階大会議室 B

〒100-0013 千代田区霞が関 3-3-3 TEL 03-3581-2261

定員：120 名

参加費・資料代：

- 超伝導科学技術研究会会員：参加費無料、資料代 2,000 円
- 未踏科学技術協会会員：参加費 2,000 円、資料代 2,000 円
- 協賛学会会員：参加費 4,000 円、資料代 2,000 円
- 一般：参加費 5,000 円、資料代 2,000 円
- 学生：参加費無料、資料代 2,000 円

【プログラム案】

<座長：飯島 康裕（フジクラ）>

13:30～13:40	開会の挨拶	超伝導科学技術研究会会長 / 青山学院大学	下山 淳一
13:40～14:10	「金属系線材から学ぶこと」	古河電気工業	坪内 宏和
14:10～14:40	「Y 系線材を語る」	九州大学	木須 隆暢
14:40～15:10	「Bi 系線材を語る」	青山学院大学	下山 淳一
15:10～15:40	「MgB ₂ 、鉄系線材を語る」	物質・材料研究機構	熊倉 浩明
15:40～16:00	休憩		
16:00～17:40	パネルディスカッション		
	座長：北口 仁（物材機構）		
	パネリスト：坪内 宏和（古河電工）、木須 隆暢（九大）、下山 淳一（青学大）、熊倉 浩明（物材機構）、飯島 康裕（フジクラ）、田中 秀樹（日立製作所）、濱島 高太郎（東北大/前川製作所）、林 和彦（住友電工）、水野 克俊（鉄道総研）、向山 晋一（古河電工）		
17:40～17:45	閉会の挨拶	未踏科学技術協会理事長	木村 茂行

参加申込サイト：<https://www1.snntt.or.jp/fsst/>

問い合わせ先：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 事務局（担当：金子）

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマノビル 6F

Phone: 03-3503-4681 E-mail: fsst@snntt.or.jp

<会場地図> 全日通霞が関ビル

最寄駅 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」5・6・11 番出口より徒歩5分

東京メトロ 千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13 番出口より徒歩8分

東京メトロ 丸ノ内線「国会議事堂前駅」2・3・4 番出口より徒歩8分

